

フィリポ

シリーズ～弟子道～

2011/10/30

第2世代の弟子たち

- 教会の諸問題を扱うために選ばれた総務係
 - ・ 7人: ステファノ・フィリポ・プロコロ・ニカノル・ティモン・パルメナ・ニコラオ
- ステファノは教会最初の殉教者となった
- ステファノの死後、教会に対する迫害が厳しくなり、弟子たちは地方に散らされた
- フィリポはサマリアに下った
 - ・ 「フィリポはサマリアの町に下って、人々にキリストを宣べ伝えた」(8:4)

使徒言行録8:26-40

さて、主の天使はフィリポに、「ここをたって南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言った。そこは寂しい道である。フィリポはすぐ出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。すると、“霊”がフィリポに、「追いかけて、あの馬車と一緒に行け」と言った。フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、／＼口を開かない。卑しめられて、その裁きも行われなかった。だれが、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」

宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」

そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの個所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。道を進んで行くうちに、彼らは水のある所に来た。宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるのでしょうか。」フィリポが、「真心から信じておられるなら、差し支えありません」と言うと、宦官は、「イエス・キリストは神の子であると信じます」と答えた。そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びにあふれて旅を続けた。フィリポはアゾトに姿を現した。そして、すべての町を巡りながら福音を告げ知らせ、カイサリアまで行った。

ガザへ下る道で

- サマリアにいたフィリポに天使が語りかけた
 - ・ 「『ここをたって南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け』と言った。そこは寂しい道である。』」
- エチオピアの女王カンダケに仕えていた高官がエルサレムに礼拝に来て帰る途中だった
 - ・ エチオピア人の宦官はどのようにして主なる神を信じる者となったのか？
 - ・ わざわざエルサレムまで礼拝に来て、高価なイザヤ所の巻物を買ったのか？
 - ・ 彼はなぜヘブライ語を読めたのか？
 - ・ シェバの女王のソロモン訪問の影響？

馬車に乗り込むフィリポ

- 聖霊の指示に従い、フィリポは見知らぬ馬車に走り寄った
 - ・「追いかけて、あの馬車と一緒に行け」
- 馬車の中からイザヤ書を朗読する声が聞こえた
 - ・ フィリポは「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。
- 宦官はフィリポに説明を頼んだ
 - ・ 「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりますよう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ

メシアについて語る

- 宦官はイザヤ書の53章7節～(苦難のメシアの預言)を読んでいた
 - ・「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、／口を開かない。卑しめられて、その裁きも行われなかった。だれが、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」
- 宦官は、「彼」とは誰なのか尋ねた
- フィリポは「個所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた」
 - ・ 子羊とはイエス様のことで、その死はすべての人の罪の身代わりであった

宦官の洗礼

- 「水のある所に来た」時宦官が洗礼を申し出た
 - ・ 「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」
- フィリポは宦官の信仰を確認し洗礼を授けた
 - ・ 「真心から信じておられるなら、差し支えありません」と言うと、宦官は、「イエス・キリストは神の子であると信じます」と答えた。
- 自ら上がると「主の霊がフィリポを連れ去った」が、宦官は「喜びにあふれて旅を続けた」

神様のタイミング

- エチオピアにユダヤ教が伝わり、宦官が信仰を持ち、ヘブライ語が読めるようになっていた
 - ・ いったい何百年かかったのだろうか？
- 宦官はエルサレムに来て、巻物を買ひ、読みながら帰るところだった
 - ・ 神様は、真理を求めるたった一人の異邦人のためにフィリポを遣わされた
- 読んでいたのはメシア預言の中心的箇所であるイザヤ書53章だった！
 - ・ 7m以上ある巻物のちょうどその箇所

フィリポに学ぶ弟子道

- 常に聖霊の導きに従い行動する
 - ・ 神様が準備しておられる
- どこででも、誰にでも福音を語る
 - ・ 神様の時を私たちは知らない
- 聖書の知識を蓄えておく
 - ・ イエス様のことを的確に語れる
- 走る！
 - ・ あなたが近づいてくれることを待っている人がいる